

隅田川ボート記念碑 除幕式

かつてはボート競技の中心地であった隅田川。当時の思い出をいつまでも市民の記憶にとどめるべく、隅田川左岸の向島堤防上に「隅田川ボート記念碑」が建設され、その除幕式が開催されました。

式典当日は、関係者約200人が見守る中、隅田川ボート記念碑建設委員会会長：半藤一利氏、墨田区：山本亨区長、日本ボート協会：木村新理事長、国土交通省下水道事業課：加藤裕之課長により序幕されました。除幕式の後には、半藤一利会長、および柳井龍二氏による記念講演会が開催されました。

日時

会期： 2016年9月3日(土)
 会場： 隅田川墨堤(隅田川左岸、向島堤防上)
 主催： ボート記念碑建設委員会



協賛

大学ボート部OB会(32校)、高校ボート部OB会(2校)、都内ボート団体(3団体)
 国土交通省下水道部、下水道広報プラットフォーム



記念碑の裏に刻印された往年のレガッタ写真と寄付団体名



大きな「漕」の文字。隅田川とボートのつながりが記されている



除幕式の様子
 左から、加藤裕之氏(国土交通省下水道事業課長)、山本亨氏(隅田川区長)、半藤一利氏(隅田川ボート記念碑建設委員会会長)

記念碑建設に至るまで

昭和30年代の高度経済成長時代、長きにわたり季節の風物詩として親しまれていた早慶レガッタは、隅田川の汚染が進んだことにより1962年に中止を余儀なくされてしまいました(東京の下水道整備が進み、隅田川の水質が向上したため1978年に17年ぶりに復活)。

かつては東大や一橋大をはじめとした大学の艇庫が隅田川にあり、各校では校内の競漕大会が盛んに行われていましたが、現在艇庫群は姿を消し、早慶レガッタ以外にボートの姿を見る機会がなくなりました。

「このままでは隅田川とボートというつながりも忘れ去られてしまう。ボート発展に向けて自分たちにできる事を全力で取り組み後世に伝えようではないか！」

そうした想いを共有する有志が集まり、2015(平成27)4月に「ボート記念碑」の建立を企画。同年11月に「隅田川ボート記念碑建設委員会」が創設され、多くの協賛を募り今回の実現に至りました。



ボート記念碑の葉